

第1回あきる野市障害者通所支援施設在り方検討委員会

- 1 日時 令和4年5月26日（木）午前10時30分から正午まで
- 2 場所 庁舎502会議室
- 3 出席委員
縄岡委員、若林委員、倉知委員、丹木委員、坂本委員、塩野委員
- 4 議事
 - (1) 委嘱書の交付
 - (2) 委員長・副委員長の互選
 - (3) 会議の公開について
 - (4) 議題
 - ア 施設の概要（歴史的経緯等・現状と課題等）について
 - イ 施設等の課題を踏まえた施設の将来像について（メリット・デメリット）
 - ウ セーフティーネットの役割について
 - エ 利用者アンケートについて
- 5 会議録（概要）
 - (1) 委嘱書の交付（机上配付）
 - (2) 委員長・副委員長の互選
 - 委員長に縄岡委員が、副委員長に藤間委員が選出された。※藤間委員は承諾済。
 - (3) 会議の公開について
 - 会議は、原則公開であることについて説明した。
 - (4) 議題
 - ア 施設の概要（歴史的経緯等・現状と課題等）について
 - 歴史的経緯等について説明した。
 - ・ 親の会等による活動や当時の市や町への働きかけによって地域の中に施設が開設したことについて
 - ・ 当検討委員会の設置に至るまでの経緯について
 - 現状と課題等について説明した。
 - ・ 希望の家及びひばり分室の運営形態の経過、利用者の推移、年齢構成、障害区分別人数、支援者の状況、運営経費等について
 - ・ 希望の家及びひばり分室の主な課題について
[課題]
 - ・ 利用者の減少及び高齢化（利用対象者：市民又は都立あきる野学園卒業生。）
 - ・ 施設の老朽化
 - ・ 施設が2か所に分かれているため介護人材の確保や効率的な運営が困難

イ 施設等の課題を踏まえた施設の将来像について（メリット・デメリット）

[施設の将来像]

- ・ このまま公の施設として指定管理制度により管理運営する
 - ・ 民間移譲する
 - ・ その他（制度移行に合わせて廃止など）
- ブレーンストーミングを活用し、それぞれの将来像に対するメリット及びデメリットの洗い出しを行った。

ウ セーフティネットの役割について

- セーフティネットの役割とは何か、公にしか担えないものか、あるいは民間事業所の専門性を生かして担えるものなのかについて意見を聴いた。

【主な意見】

- ・ 自身の事業所に希望の家等に入所できなかった方が入所相談に来たことがあり、公の施設としてセーフティネットの役割を担えているのか疑問に思う。
- ・ セーフティネットの役割は時代とともに変わってきていると考える。
- ・ 入所を断るには様々理由はあるかと思うが、地域に溶け込めない方、集団に入れない方等の受け入れをしてこそセーフティネットが成り立つと考える。
- ・ 希望の家等の利用者が減少していることに驚いた。10年前は近隣に作業所が少なく、どの事業所も定員いっぱいでは何件も断られた経験がある。このようなケースを受け入れるのが役目と考える。
- ・ 民間事業所に断られた方を受け入れるのがセーフティネットと考えるが、経費もかかる。市でどこまで対応が可能か、また、民間事業所でも対応できるのか検討が必要である。
- ・ 市がセーフティネットを掲げていても、施設の雰囲気や活動内容、すでに利用している方の状況や障害特性などにより、市の施設が利用者に馴染まないこともある。セーフティネットの役割自体がどのようなものかと感じる。
- ・ 今までは社会資源が少なかったため、受け入れることが役割であったが、現状では行動障がいの方を受入れられないこともあるよう。また、受け入れた際は、他利用者とのサービスの平等性も考慮する必要がある。セーフティネットがキーワードであれば、今後どのように検討していくのかを考える必要がある。
- ・ セーフティネットの対象には家族も含まれることを考慮して考えてほしい。サービスの平等性については、必ずしも平等でなくても理解は得られると考える。少ない資源の中では、利用者相互の信頼関係が重要になる。

エ 利用者アンケートについて

- 施設利用者に当施設に入所した理由や公募にした場合、将来的に民間移譲した場合に心配に思うことなどについてアンケート調査を実施した。このアンケート調査の結果について、各委員からの意見を聴いた。

【主な意見】

- ・ 他の事業所を検討せずに入所した方が非常に多い。信頼性の部分で利用を開始されたと思うので、公募するのであれば、信頼性の部分についての説明をしっかりと

り行うことが重要である。また、公募や民間移譲により他事業所になることについては、同等のサービスが受けられれば問題ないといった意見がある一方で、移譲については施設の持続性に保証がないので心配である、との意見もある。長期的なビジョンを示し、利用者等に状況説明していく必要がある。

- ・ 施設には様々な障がいの方がいると思うが、民間事業所では自閉症専門である等の特徴があるため、公募でそのような事業者が指定管理者になれば、施設の立地の良さに加え専門性の高いサービスも提供できるのではないかと。
- ・ 施設の立地が良いので、より専門性が加わると、利用者やご家族も安心するのではないかと。
- ・ 自由記述を見て、専門性や個々に応じた環境作り、支援方法について、利用者やご家族は求めていると感じた。
- ・ ご家族は支援者が変わることで、不穏になることや利用者の不安定さが出ることを心配している。ご家族が高齢で対応できないと自宅で過ごすことが難しくなる危険性もある。事業者の専門性が必ずしも良いわけではないと思う。現在の支援方法や雰囲気をご家族にどれだけ継続して体制を変えていけるかという点で、新たな事業者が利用者との信頼関係を築いていけるかが心配である。
- ・ ご家族との信頼関係の構築が気になる。自由記述にある薬の利用の例に関しては、薬を全く利用しないようにするのではなく、上手に使っていくことが重要であり、専門性も重要になると思われる。そのため、ご家族との信頼関係も重要になってくる。利用者に決定能力がない中でどのように代行決定をしていくのかは、一つの論点になるのではないかと考える。

6 次回会議日程

日時 令和4年7月15日（金）午前10時45分から

場所 市役所301会議室

以上